



経済産業省
四国経済産業局



開幕まであと**40**日！

大阪・関西万博の最新の動向

経済産業省 四国経済産業局

令和7年3月4日



大阪・関西万博の開催について

- 万博は、国際博覧会条約（BIE条約）に基づき、日本政府が実施するもの。「分断する世界」を繋ぎ、「グローバルサウス」諸国も含む各国の大きな期待に応える国際的な責務と外交的な意義あり。

開催概要

名称 : 2025年日本国際博覧会
会場 : 夢洲（ゆめしま/大阪市臨海部）
開催期間 : 2025年4月13日（日）～10月13日（月）
来場者数 : 約2,820万人（想定）
参加国数 : 158ヶ国・9 国際機関

テーマ : いのち輝く未来社会のデザイン
コンセプト : 未来社会の実験場



クロノロジー

- 2017年から誘致活動。ロシア（エカテリンブルク）、アゼルバイジャン（バクー）も立候補。
- 2018年のBIE総会で、大阪での開催が決定。（日本 92票 ロシア61票）

- 【2016年】12月22日 : 万博誘致の関係省庁連絡会議の発足
【2017年】4月7日 : 万博誘致の立候補（閣議了解）
【2018年】11月23日 : 誘致決定
【2019年】12月20日 : 登録申請書の提出に係る閣議決定
【2020年】9月16日 : 万博特措法施行
(国際博覧会担当大臣の任命、内閣に推進本部設置)
12月1日 : BIE総会（開催計画承認、参加招請の開始）
12月21日 : 基本方針の閣議決定
【2021年】8月27日 : インフラ整備計画の決定（万博推進本部決定）
10月～2022年3月 : ドバイ万博
【2023年】4月13日 : 起工式・会場内パビリオン建築工事開始
11月30日 : 前売り入場券販売開始
【2024年】4月13、17日 : 1年前イベント（東京・大阪で開催）
10月13日 : 半年前イベント（東京で開催）

大阪・関西万博会場の周辺地図



2025年1月19日開業！



会場建設が大きく進展 つながった大屋根リング

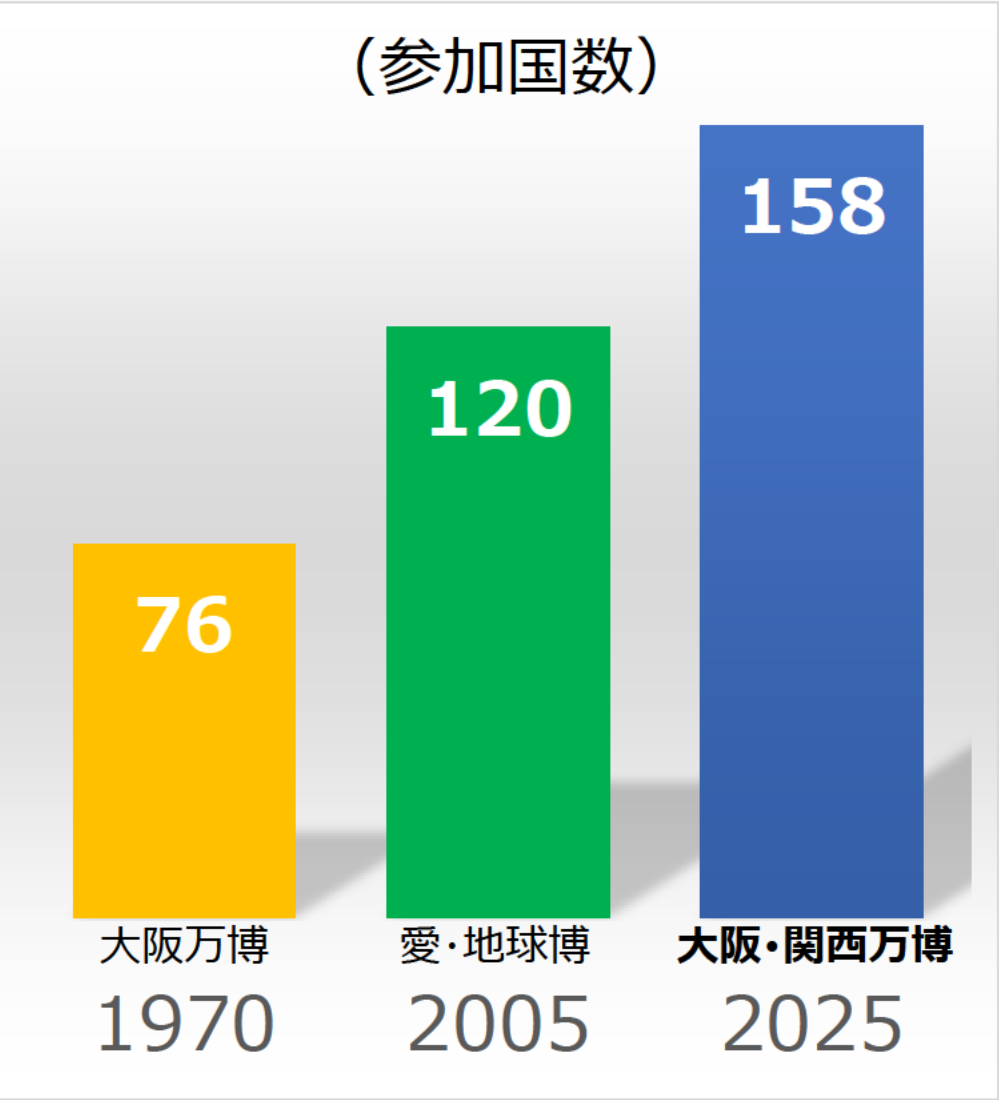
(2023年10月時点)

(2025年1月20日時点)



(写真提供：公益社団法人2025年国際博覧会協会、株式会社大林組 撮影：株式会社伸和)

日本開催の万博史上、最多の参加国（158ヶ国・地域、9国際機関）

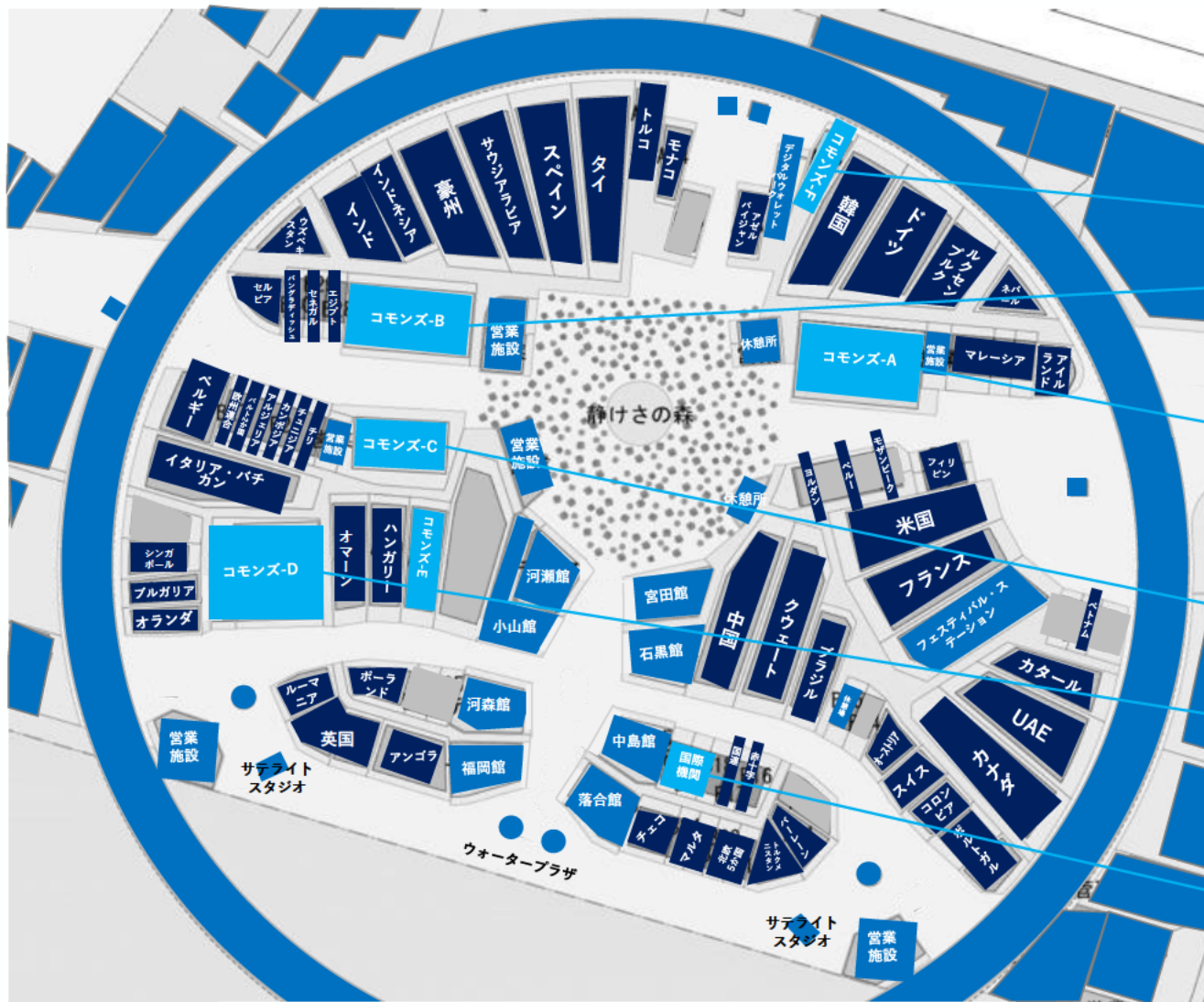


(出所: BIEウェブサイト)

出展形態	2025年 大阪・関西万博 (12月27日時点)	(参考) 2005年 愛知万博
単独館	64か国 3国際機関	58か国 4国際機関
共同館	94か国 6国際機関	62か国
計	158か国 9国際機関	120か国 4国際機関

注1) 単独館：公式参加者によるパビリオン単独で構成される館（いわゆるタイプA・X・B）。
注2) 共同館：公式参加者によるパビリオンが複数以上、共同で構成される館（いわゆるタイプC）。
「コモンズ」とも称する。

大屋根リングの中で、海外パビリオンの建設が進む



■ 海外パビリオン（単独館）：64か国、3国際機関

■ 海外パビリオン（共同館）：89か国、5国際機関

■ 民間パビリオン・協会利用建物等

※区画決定済みの国・機関のみを記載

共同館区画※

■ <コムンズ-F>（2か国）

・ アルメニア、カザフスタン

■ <コムンズ-B>（24か国）

・ エチオピア、ガイアナ、ガンビア、コートジボワール、ザンビア、シエラレオネ、ジブチ、ジャマイカ、ジンバブエ、セントビンセント及びグレナディーン諸島、ソマリア、タンザニア、中央アフリカ、ツバル、ドミニカ共和国、ナウル、ハイチ、パラグアイ、東ティモール、フィジー、ベナン、ミクロネシア、モーリタニア、レソト

■ <コムンズ-A>（28か国）

・ イエメン、ウガンダ、エスワティニ、ガーナ、北マケドニア、ギニアビサウ、キルギス、ケニア、コソボ、コモロ、サモア、スリナム、スリランカ、セーシェル、セントクリストファー・ネイビス、セントルシア、ソロモン諸島、トリニダード・トバゴ、トンガ、バヌアツ、バプアニューギニア、パラオ、バルバドス、ブルンジ、ボリビア、マラウイ、モーリシャス、ルワンダ

■ <コムンズ-C>（10か国）

・ イスラエル、ウルグアイ、ガボン、グアテマラ、クロアチア、サンマリノ、スロバキア、スロベニア、パナマ、モンテネグロ

■ <コムンズ-D>（25か国）

・ アンティグア・バーブーダ、カメルーン、ギニア、キューバ、コンゴ民主共和国、サントメ・プリンシペ、スーダン、赤道ギニア、タジキスタン、トーゴ、ナイジェリア、パキスタン、パレスチナ、ブータン、ブルキナファソ、ベリーズ、ホンジュラス、マーシャル諸島、マダガスカル、マリ、南スーダン、モルドバ、モンゴル、ラオス、リベリア

■ <国際機関共同館>（5国際機関）

・ アフリカ連合委員会、イーター国際核融合エネルギー機構、国際科学技術センター、太陽に関する国際的な同盟、東南アジア諸国連合事務局

各国の多様な文化を反映した海外パビリオン

欧州・中東地域

イタリア・バチカン館



画像出典：在京伊大

オーストリア館



画像出典：BWM Architects

ドイツ館



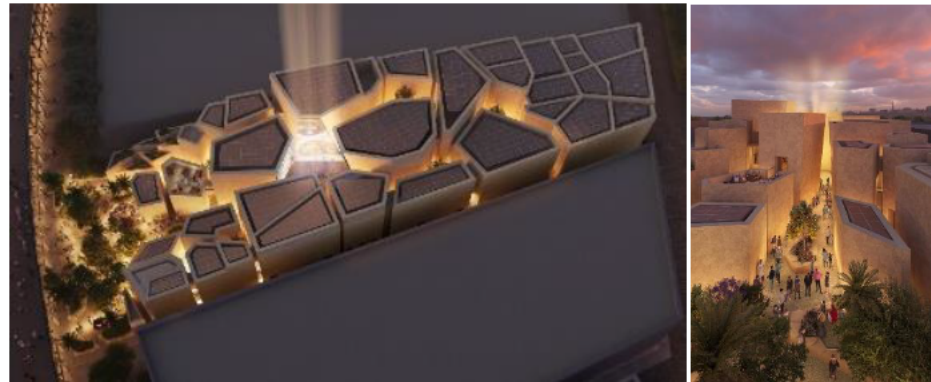
画像出典：German Pavilion / MIR LAVA facts+fiction

トルクメニスタン館



画像出典：Belli

サウジアラビア館



画像出典：在京サウジ大

クウェート館



画像出典：クウェート政府

民間パビリオンについて

- 13者が出展予定で、2023年10月にパビリオン構想を発表。

①日本電信電話株式会社 「NTT Pavilion "Natural"（仮称）」



<（提供）日本電信電話(株)>

テーマは「Natural 生命とITのくあいだ」で、コンセプトは「拡張するパビリオン」、「生きているパビリオン」、「一緒につくるパビリオン」、「循環するパビリオン」。リアル・バーチャルで万博を訪れる皆さまにワクワクするような未来、社会課題への気づきを感じていただくことをめざす。

②電気事業連合会「電力館 可能性のタマゴたち」



<（提供）電気事業連合会>

テーマは「エネルギーの可能性で未来を切り開き、いのち輝く社会の実現へ」、コンセプトは「可能性のタマゴ」。エネルギーのたくさんの“可能性のタマゴ”と、それらが集まることで開かれる未来を体感いただき、共にいのち輝く未来へ進んでいききっかけとなることをめざす。

③住友 EXPO2025 推進委員会「住友館」



未来をつくる子どもたちとすべての人に、リアルとデジタルを駆使した、ここにしかない森での体験を提供する。パビリオン建設にあたっては、住友グループが全国に保有する森の木材を全面的に活用するなど、いろいろなアイデアや知恵を盛り込む。

<（提供）住友 EXPO2025 推進委員会>

④パナソニックホールディングス（株）「ノモの国」



<（提供）パナソニックホールディングス(株)>

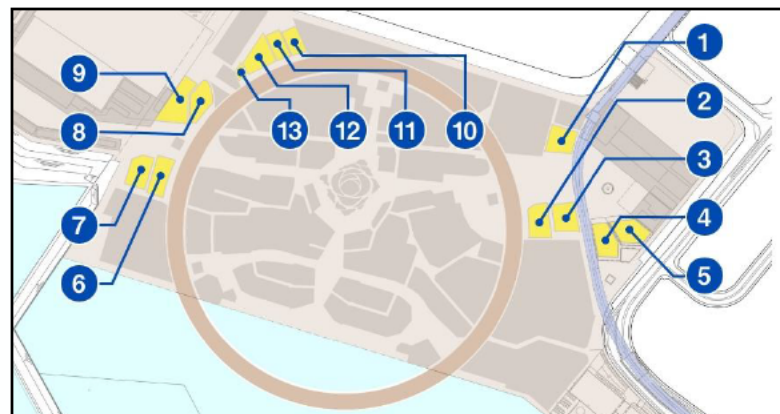
コンセプトは、“解き放て。こころとからだじぶんとせかい。”。
α世代の子どもたちに、「ノモの国」と名づけた体験を通じて、自身の秘められた可能性「天分」に気づき、未来社会に向けて希望を抱いてもらえるようなパビリオンをめざす。

⑤三菱大阪・関西万博総合委員会「三菱未来館」



基本コンセプトを「いのち輝く地球を未来に繋ぐ」と定め、「いのちの始まり、いのちの未来」「いのちの尊さ」「いのちの出会いと共に生きる奇跡」といった様々な思いや不思議を共有頂き、来館者お一人おひとりに、いのちと未来を想像する時間と空間を体験頂けるようなパビリオンをめざす。

<（提供）三菱大阪・関西万博総合委員会>



⑥ 吉本興業ホールディングス（株） 「よしもと waraii myraii館」



パビリオンのテーマは「Waraii Myraii（ワライ ミライ）」。
テーマの“waraii”が世界語となることを夢見て、3つの「世界中の子どもたち」「笑い」「つながる」のキーワードをもとに、「分断」と「対立」の世の中に、子どもたちが初対面でも笑い合うことで国境を越えてつながることができる「笑い」のチカラを、世界の子どもたちと一緒に示していく。

<（提供）吉本興行ホールディングス(株)>

⑦（株）パソナグループ「PASONA NATUREVERSE」



パビリオンでの体験を通じて、世界中のすべての人たちが、いのちを尊び、いのちへの感謝で包まれる世界。多くの人の「ありがとう」が響き合う世界。
パビリオン名の「Natureverse（Nature×Universe）」を共に創る、創造者になってほしいという想いが込められている。

<（提供）株式会社 パソナグループ>

⑧ 特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン 「BLUE OCEAN DOME（ブルーオーシャン・ドーム）」



「海の蘇生」をテーマに掲げ、来場者の皆様に今までにない体験を提供するパビリオン。
建築設計を坂茂氏、展示コンテンツを株式会社日本デザインセンターの原研哉氏・原デザイン研究所が担当する。

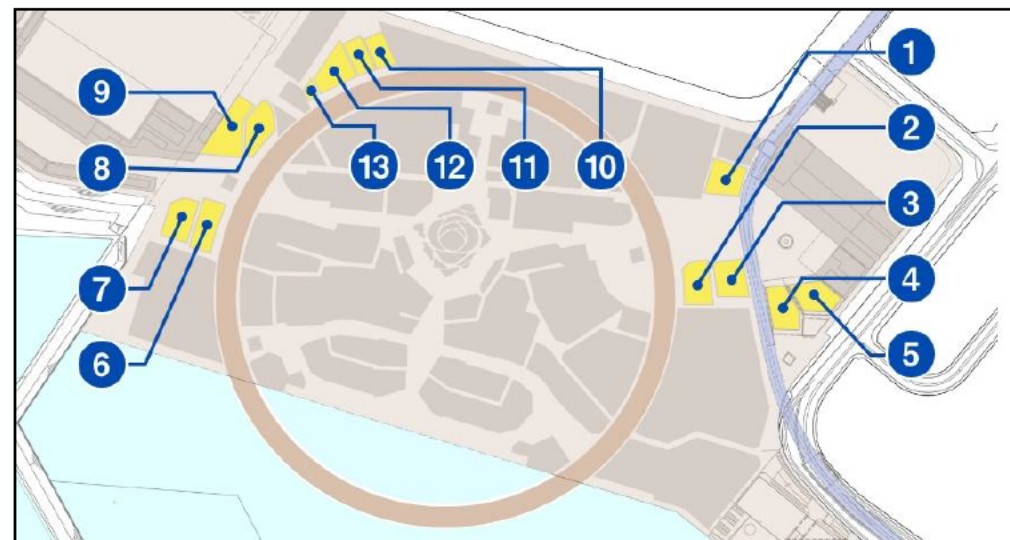
<（提供）特定非営利活動法人 ゼリ・ジャパン>

⑨（株）バンダイナムコホールディングス 「GUNDAM NEXT FUTURE PAVILION」



「機動戦士ガンダム」をテーマに未来社会の課題解決に向けた実証実験や、人と人のつながりによる「共創」の実現、リアルとヴァーチャルの連動した未来体験を提供し、ガンダムが示す可能性を感じていただけるパビリオンをめざす。

<（提供）株式会社バンダイナムコホールディングス>



⑩玉山デジタルテック（株）「TECH WORLD」



台湾独自の技術(テクノロジー)、智能(スマートソリューション)、文化(カルチャー)、連携(パートナーシップ)をコンセプトに「都市×地方、大自然、生命力」の三大エリアを設け、最新デジタル技術により人々の視覚・聴覚・嗅覚・触覚・味覚と感性の「六感」に響く感動をお届けするパビリオン。

<（提供）玉山デジタルテック(株)>

⑪一般社団法人日本ガス協会 「ガスパビリオン おばけワンダーランド」



来場者、特に子どもたちの記憶に残り、豊かな心をはぐくむ原体験となるような「来場者参加型エンターテインメントパビリオン」をめざす。
カーボンニュートラルという地球規模の課題に対し、ともに考え、いのち輝く未来社会へ一歩を踏み出すパビリオン。

<（提供）一般社団法人 日本ガス協会>

⑫飯田グループホールディングス（株） 「飯田グループ×大阪公立大学 共同出展館」



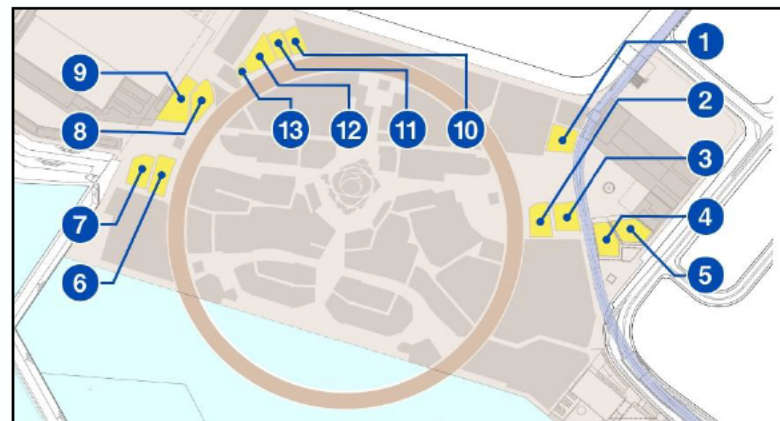
「ただいま／TADAIMA」というキーワードを軸に、大阪公立大学との共同研究テーマである「ウェルネス」、「人工光合成」技術を活用した「いのち輝く未来社会」を、時空を超えるナビゲーターのメッセージとともに体感していただけるパビリオン。

⑬一般社団法人大阪外食産業協会 ORA外食パビリオン「宴～UTAGE～」



おいしい！だけじゃない。ココロとカラダが、そして地球が喜ぶ未来の「食」。
ここでしか食べられない“食”が集まる、世界でただひとつのフード・エンターテインメント。
グローバル・ツーリズムをリードする国際都市、“食都・大阪”の未来の一端を体験できるパビリオン。

<（提供）一般社団法人 大阪外食産業協会>



住友 EXPO2025 推進委員会



住友館

SUMITOMO EXPO2025

© Sumitomo EXPO2025 Promotion Committee

建築デザインは、住友の発展の礎である四国“別子の嶺”から着想を得て、山々が連続するシルエットを表現しています。パビリオンの建設にあたっては、住友グループが保有する“住友の森”の木を全面的に活用します。「1本1本のいのちを大切にしたい」という思いから、木材の加工方法についても検討と議論を重ね、“合板”を用いる事で木々を余すことなく利用します。



© Sumitomo EXPO2025 Promotion Committee



© Sumitomo EXPO2025 Promotion Committee



© Sumitomo EXPO2025 Promotion Committee

住友館は、2つの展示体験を発表しています。

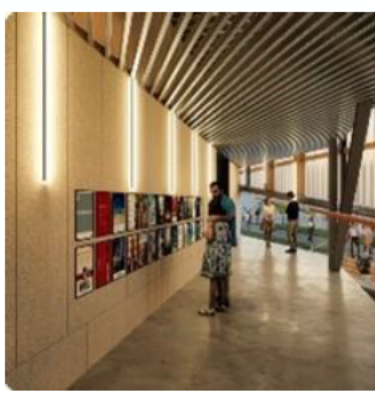
1つ目は、ここにしかない森の中を巡るインタラクティブ体験「UNKNOWN FOREST～誰も知らない、いのちの物語～」。

2つ目は、2025年より先の未来に向けて苗木や土に触れる体験型プログラム「植林体験」の実施です。

三菱大阪・関西万博総合委員会 「三菱未来館」



パビリオン外観イメージ



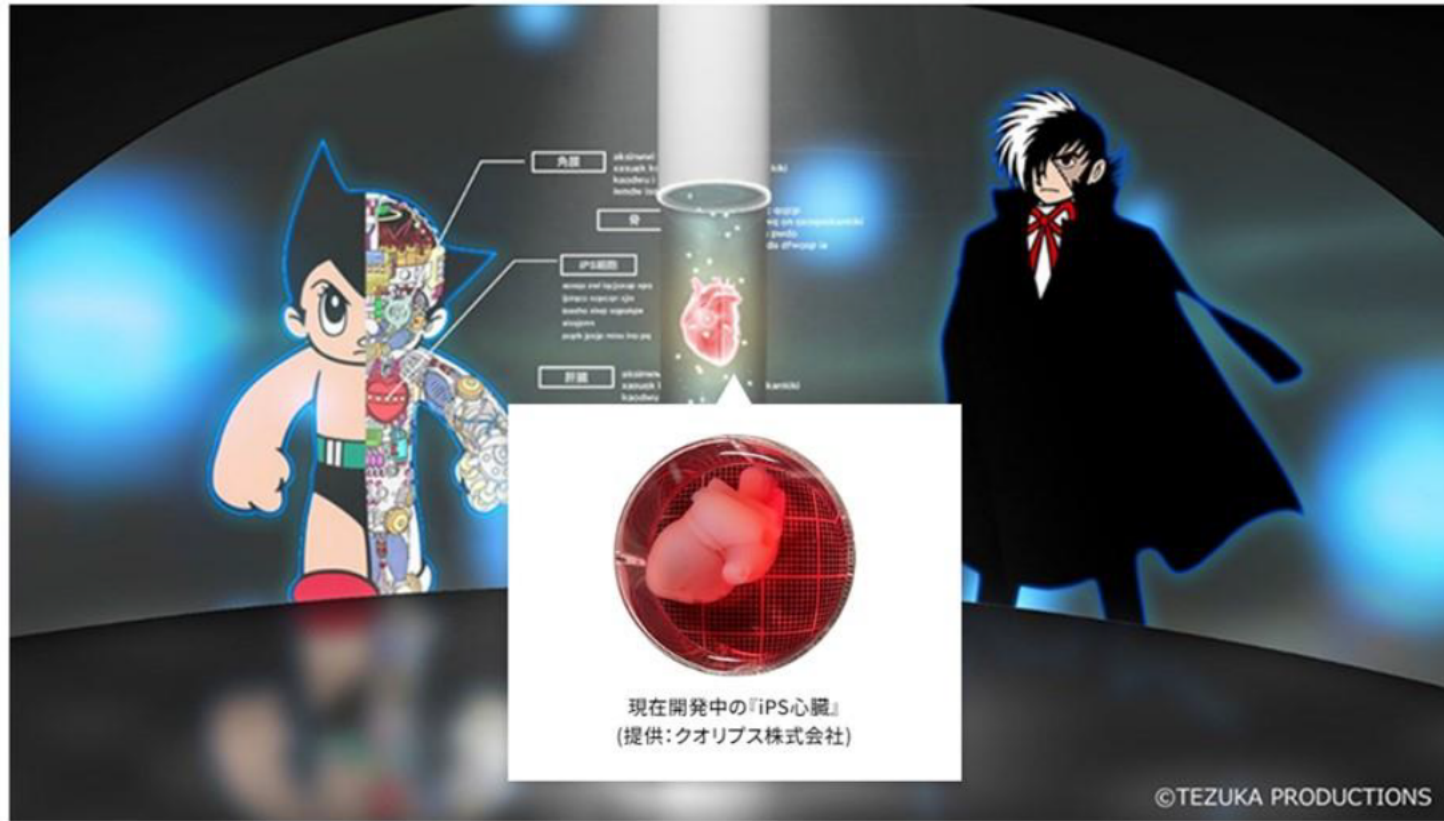
プレショー・メインショー・ポストショー イメージ

いのち輝く地球を未来に繋ぐ

- Keeping the World Vibrant -



三菱未来館は、「いのち輝く地球を未来に繋ぐ」というコンセプトのもと、地上に浮かぶマザーシップのような建物として設計されています。パビリオンはプレショー、メインショー、ポストショーの3エリアから成り、地下空間からパビリオンを巡り、未知なる深海から遙かなる宇宙へ7500万kmにわたる「いのちを巡る壮大な旅」を体験できます。来館者は、没入感のある体感型シアターで、最新の学術研究に基づいたエンターテインメント演出により、圧倒的なリアリティ、迫力、スピード感、浮遊感を体験し、地球といのちの大切さを深く学ぶことができます。



パソナグループパビリオン PASONA NATUREVERSE

コンセプト
「いのち、ありがとう。」

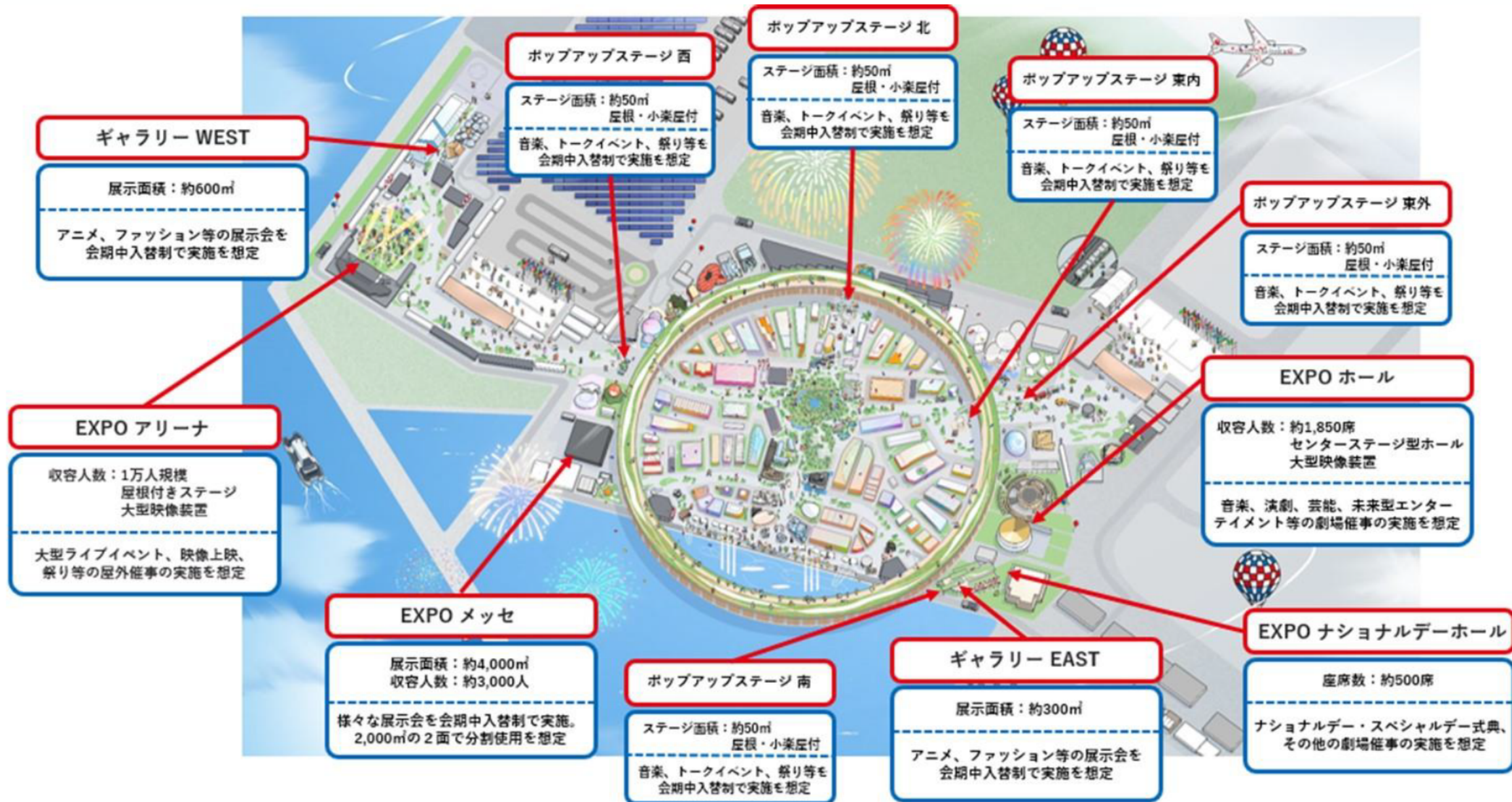


『iPS心臓』 展示

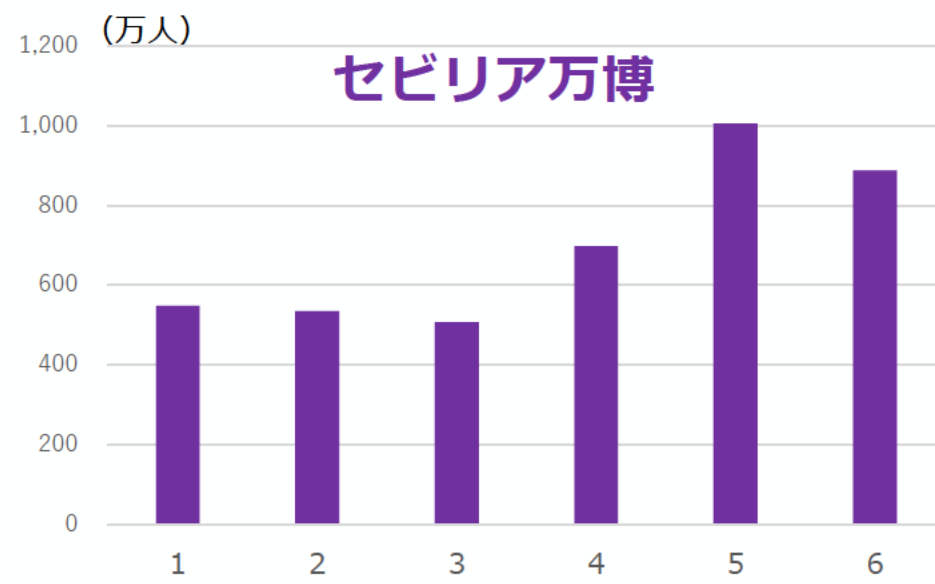
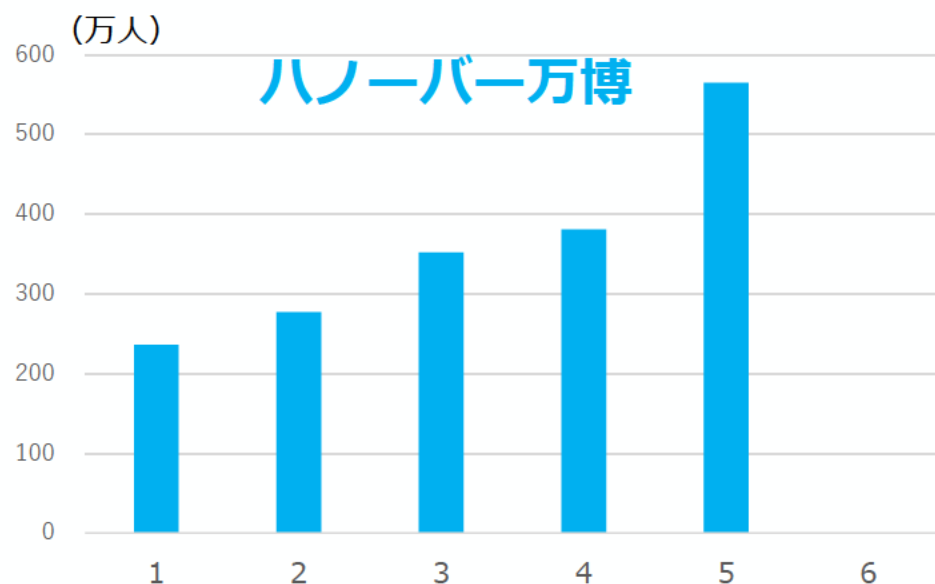
iPS細胞や、既に実用化されているiPS心筋シートの技術を活用。生きた細胞により、バイオマテリアル・バイオエンジニアリングを用いた立体の心臓を作製。

培養液中で『iPS心臓』が実際に拍動する様子を展示し、医療の未来・いのちの未来を創る新たなテクノロジーの可能性を、世界に向けて発信します。

催事会場について



(参考) 後半に混雑するのが万博の常



入場券種・料金の一覧

- 2023年11月30日から入場券の前売り販売を開始。公式販売Webサイトのほか、博覧会協会と契約した旅行代理店など販売事業者から購入可能。

前売期からの販売

チケット概要		大人 (満 18 歳以上)	中人 (満 12-17 歳)	小人 (満 4-11 歳)
開幕券 (4月12日まで販売 ※1)	2025年4月13日から 2025年4月26日まで1回入場可	4,000円	2,200円	1,000円
前期券 (4月12日まで販売 ※1)	2025年4月13日から 2025年7月18日まで1回入場可	5,000円	3,000円	1,200円
早割一日券	会期中いつでも1回入場可 【販売期間】 2024年10月7日～2025年4月12日	6,700円	3,700円	1,700円
夏パス (8月31日まで販売)	2025年7月19日から 2025年8月31日まで 11時以降何度でも入場可	12,000円	7,000円	3,000円
通期パス (10月3日まで販売)	2025年4月13日から 2025年10月3日まで 11時以降何度でも入場可	30,000円	17,000円	7,000円
特別割引券 (会期終了まで販売)	障がい者手帳等をお持ちの方 及び同伴者1名が購入可能 会期中いつでも1回入場可	3,700円	2,000円	1,000円

会期中の販売

チケット概要		大人 (満 18 歳以上)	中人 (満 12-17 歳)	小人 (満 4-11 歳)
一日券	会期中いつでも 1回入場可	7,500円	4,200円	1,800円
平日券	土日祝を除く 平日11時以降1回入場可	6,000円	3,500円	1,500円
夜間券	会期中いつでも 17時以降1回入場可	3,700円	2,000円	1,000円

※価格は税込です。※年齢は2025年4月1日時点の満年齢です。3歳以下の方は無料となります。※入場チケットは、スマートフォンやパソコンから購入できます。また、旅行代理店やコンビニ、各種プレイガイドなどでも購入できます。※来場にあたっては原則来場日時予約が必要となります。※団体割引券もあります。※チケットの詳細については万博公式WEBサイトをご確認ください。※1「開幕券」「前期券」は販売状況により販売期間が変更となる可能性があります。



チケット購入はこちらから

万博チケット



4/12
までの販売

万博に向けた四国管内の状況

経済産業省 四国経済産業局

令和7年2月20日

● 徳島県ブース (関西パビリオン内常設ブース)

テーマ：水とおどる

- ・木工、和紙、藍染など、徳島の「伝統工芸品」を空間デザイン及び展示に活用し、水の流れを表現。
- ・徳島県の「鳴門の渦潮」、「祖谷のかずら橋」といった自然や観光資源、世界に誇る伝統芸能「阿波おどり」などがプロジェクションマッピングにより体感できる。
- ・ブースの一部は神山まると高専等の学生が企画を担当する。

● 誘客促進に向けた「公共交通（高速バス等）割引券」

徳島への興味・関心を持った来場者を対象として、徳島県ブース内で「関西⇒徳島」の高速バス及びフェリーの片道料金を一律500円とする割引券を提供予定。

キーカラー

「藍色」を中心とした青系で“水の中”をイメージ

デザインモチーフ

徳島の伝統工芸「阿波指物」「阿波和紙」「阿波藍」



● 世界が踊る日 ～多様性が織りなす踊りの輪 徳島の阿波おどり～

日時：2025年5月2日（金）、3日（土）

場所：EXPOアリーナ「Matsuri」 ※約16,000人収容規模／立ち見

- 1970年の大阪万博でも披露し、今や日本を代表する踊りとなった「阿波おどり」。
世界中から集う多様な人々を一つに繋げる「輪」をコンセプトに会場を巻き込んだ形で一体感を創出。



● 紡がれ、つなげる 徳島の文化 「阿波の国とくしま つむぐCAFE」 (未来への文化共創ウィークでの出展)

日時：2025年4月30日（水）～5月3日（土）

場所：EXPOメッセ「WASSE」

- 「文化体験カフェ」をコンセプトに、徳島の食を楽しみながら伝統文化・産業・職人の技等の様々な魅力を体感できる空間を創出、来県のきっかけを提供。



香川県

● 香川の未来へつなぐ船“せとのかけはし号” (日本の魅力まるごと体感 in EXPO出展)

日時：2025年4月30日（金）～5月3日（土）

場所：EXPOメッセ「WASSE」

□ 豊かで美しい自然

・瀬戸内国際芸術祭、瀬戸内海国立公園、多島美 など

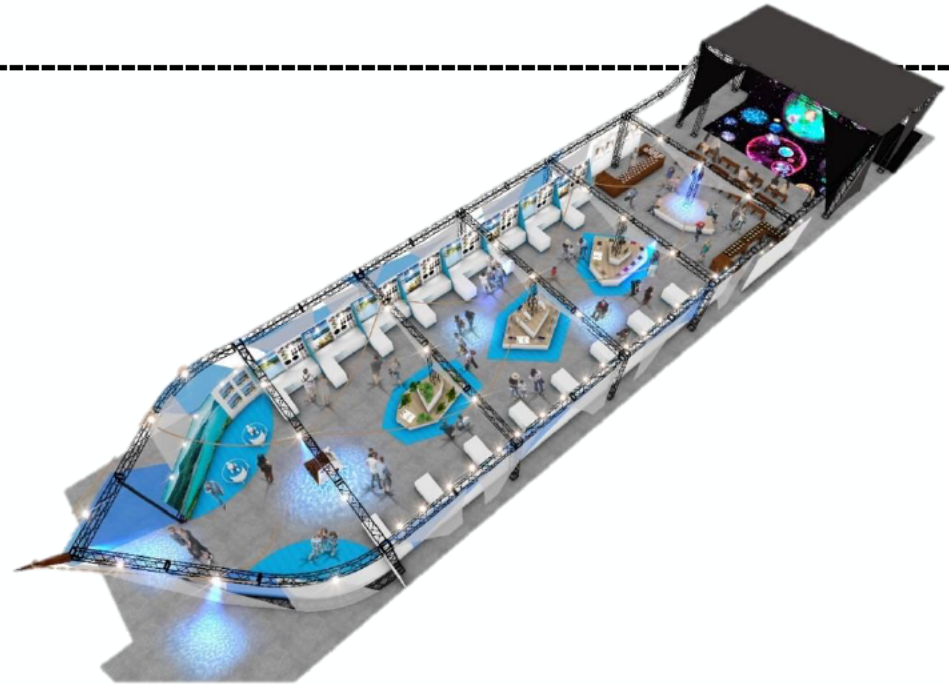
□ 豊かな食文化

・うどん、オリジナルブランドの畜・水産物の試食提供 など

□ 伝統芸能・伝統文化・伝統工芸

・獅子舞(三木町)、滝宮念仏踊(綾川町)、綾子踊(まんのう町)など
・高校生花いけバトル in 万博（大阪と香川の高校生による共創を予定）
・高松盆栽、丸亀うちわ、手袋・革製品(東かがわ市)など

⇒県内市町による特産品等PRブース出展も実施



● アートする里海ーKAGAWAー (地域の未来と生物多様性ウィークでの出展)

日時：2025年9月26日（金）～29日（月）

場所：ギャラリーWEST

□ 瀬戸内海の価値の発信

・瀬戸内海の多島美や豊かな生態系をPRする高品質な映像作品
・「海の復権」をテーマとする「瀬戸内国際芸術祭」

□ 海の課題解決に向けた取り組み

・海ごみを使ったアート作品制作ショー
・里海をテーマにアート作品を制作する参加型イベント
・「エコアイランドなおしま」紹介や「エコTシャツアート展」展示

□ 東京藝術大学との連携事業

・東京藝術大学の協力を得て、海ごみアート作品の展示を計画中



愛媛県

● 疲れたら、愛媛。 愛媛のいやしを五感で体感

日時：2025年8月27日（水）～30日（土）

場所：EXPOメッセ「WASSE」

【出展概要】

□ 愛媛グルメを満喫できる飲食・物販スペースの設置

- ・ 蛇口ジュースや柑橘スイーツ、「すご味」※等の飲食提供など
- ・ 柑橘アロマや「すごモノ」※を活用した癒しの空間を創出



□ 自然・歴史文化・アクティビティの体験ができる日替わり企画

- ・ バーチャルサイクリングしまなみ大会（ゲスト参加含む）
- ・ 県内市町と連携したイベント など

□ 愛媛観光のプロモーション

- ・ VR等のデジタル技術の活用、
「みきゃん」や県が所有する絶景パネルの活用など

※「すご味（食品）」「すごモノ（雑貨等）」は、愛媛県内で生産・加工された良質な食材や加工食品、地域色豊かな伝統的特産品をはじめとする地場産品等を愛媛県が認定しているものです。



高知県

● 高知県イベント（よさこい祭り&街路市（日曜市））

高知発祥の「よさこい鳴子踊り」と300年の歴史を誇る「街路市」を柱とした、高知の文化や食などの魅力を体感していただけるイベントを開催します。

◇日程：2025年8月22日（金）～23日（土）

◇会場：EXPOアリーナ「Matsuri」

◇出展内容（案）

- （1）ステージなどで「よさこい鳴子踊り」の演舞を披露し、
発祥地の「原点のよさこい」から、国内外に広がり進化・発展した
多様な演舞まで、その自由な魅力を発信
- （2）「街路市」の魅力を再現したブースで県内市町村などが特産品販売や
飲食提供を行い、地域文化や観光情報を発信



よさこいイメージ



街路市イメージ

その他自治体の取り組み

● 新居浜太鼓祭り（愛媛県新居浜市）

日程：令和7年5月21日（水）

場所：EXPO アリーナ「Matsuri」

- ・本場で運行される豪華絢爛な太鼓台が出場し迫力の演技を披露。
日本の祭りを通じて世界中の皆さんと心おどるワクワクを共有。



● 地方創生SDGsフェス（内閣府地方創生推進事務局）

日程：令和7年5月28日（水）～6月1日（日）

場所：EXPO メッセ「WASSE」

- ・各地方自治体による先導的な地方創生SDGsの取組を発信し、エンターテインメント要素を交え、各自治体が誇る特色を体験・体感できるブースを展開。

▽四国内参加自治体
（全51自治体中6自治体）

＜単独出展＞

- ・四国中央市（愛媛県）
- ・高知県

＜共同出展＞

- ・土佐町、本山町、大豊町、
大川村（高知県）



※出典：https://www.chisou.go.jp/tiiki/kankyo/241220_press.pdf

～私たちが描く地域の未来社会～

● 書道パフォーマンス甲子園inEXPO（愛媛県四国中央市）

日程：令和7年8月21日（木）

場所：EXPOホール「シャインハット」

「地域社会と私たちの未来 "Our Community and Future"」というテーマのもと、第18回書道パフォーマンス甲子園(R7.7.27開催)で活躍した学校が書道パフォーマンスを世界に発信します。
地域の誇りや自分たちの想いを書の力に込め、心を一つにして、世界中から集まる人々に伝えます。



● Resolution of LOCAL JAPAN展 ～地域が創る日本と地球のいのち輝く未来～（万博首長連合）

日程：令和7年7月28日（月）～7月31日（木）

場所：EXPO メッセ「WASSE」

・地域に溢れる「日本の奥深さ」を五感で楽しみ、味わっていただく体験型コンテンツを展開。世界に誇るいにしえから最先端な技術や伝統文化、音楽、食、健康、自然などをテーマに、史上初、地域がコラボレーションして新たな気づきや感動をお届け。

▽四国内参加自治体
（全43自治体中3自治体）

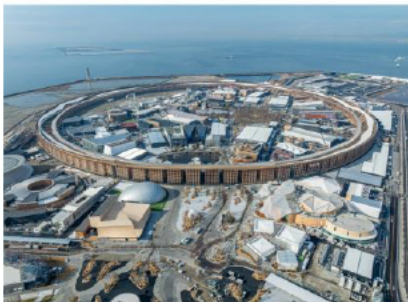
- ・徳島市（徳島県）
- ・東かがわ市（香川県）
- ・須崎市（高知県）



万博への商品・素材等の提供

● 【(株)サイプレス・スナダヤ】(愛媛県西条市)

- ・ **大屋根リング**に使用される直交集成版 (CLT) の約8割を同社が納入。複数の海外パビリオンにも提供。
- ・ 同社のCLT生産規模は国内2位。原木の製材からCLT製造まで一貫生産が可能な日本初の工場をもち、コスト面での優位性と設計に応じた製造対応力を実現。



提供: (株)サイプレス・スナダヤ

写真提供: 公益社団法人2025年国際博覧会協会、
株式会社大林組
撮影: 株式会社仲和

● 【(株)那賀ウッド】(徳島県那賀町)

- ・ 万博の**未来社会ショーケース事業の特別プログラム「Co-Design Challenge 2024」**にて、“未利用木竹材を活用した森林・地域を元気にするごみ箱”が採択。(5社による連携事業であり代表は(株)折兼)
- ・ 同社は原料となる木粉を、徳島県産の未利用木材を使い製造。
- ・ 万博会場への提供と、徳島県での森林まるごと体験ツアーを実施予定。



提供: (株)那賀ウッド

● 【(株)コスモ工房】(高知県高知市)

- ・ 竹加工メーカーの同社の竹集成材を**民間パビリオン (特定非営利活動法人ゼリ・ジャパン) の「ブルーオーシャンドーム」**の骨組みに使用。
- ・ 直径19m、高さ9mのドームには県産孟宗竹(もうそうちく)約2万本使用。



提供: (株)坂茂建築設計、(株)コスモ工房

● 【(株)椿ya】【日美(株)】(香川県高松市)

- ・ (株)椿yaが万博会場内で使用される**屋外テーブル1,000台**を貸与。
- ・ 日美(株)が製造する**香川県産のヒノキのテーブル**が使用される。



画像提供: (株)椿ya、日美(株)

万博への商品・素材等の提供

●【(株)いんどり】(徳島県上勝町)

- ・ 同社が参加する「木の糸コンソーシアム」が、**万博医療チーム用の公式医師ユニフォーム**を提供。
- ・ 国産木材(間伐材)を原料とした天然繊維「木糸」を素材としており、その一部に上勝町産の杉材を使用。



提供：(株)いんどり

●【朝日スチール工業(株)】

(香川県高松市)

- ・ 国内トップシェアとトップレベルを誇るフェンスの製造販売会社。
- ・ 万博会場外周の**セキュリティフェンス**等で採用。



提供：朝日スチール工業(株)

●【(株)スワニー】(香川県東かがわ市)

- ・ 運営参加として**車椅子(スワニーミニ)**を提供。
- ・ 座席幅は標準サイズを確保しつつ、走行時は改札を通れる54cm、折畳むと幅22cmの世界最小クラスを実現。



提供：(株)スワニー

●【ハヤシ商事(株)】(高知県土佐市)

- ・ 運営参加として**トイレトーパー**を提供。
- ・ 1970年万博でも使用した、土佐和紙伝統の技術を活かした「すかし模様」の製品。



提供：ハヤシ商事(株)

万博会場での出展への参加等

● 【海藻ラボ(株)】(徳島県海陽町)

- ・世界の重要な課題を解決する良質なプロジェクトを発信するプログラム「ベストプラクティス」において、万博のテーマを体現するプロジェクトが募集され、未来への貢献が期待できるひとつとして同社の取り組みが選出。(徳島県、徳島文理大学 山本教授、徳島大学 岡准教授等と連携)
- ・会場内ベストプラクティスエリアでの常設展示や、受賞者による取り組み発表、交流の場を予定。

▽概要「海藻が 人と海を 豊かに、健康に。」

- ・地球規模での海水温の上昇や水質変化による海の砂漠化が深刻な問題となる中、海藻の安定培養として、現行の海面養殖とは全く異なる陸上での養殖システムを開発。
- ・太陽と天然海水を利用する持続可能な最先端の養殖システムであり、現在通年的に2種類の食用海藻を陸上養殖。
- ・また、海藻は光合成によりCO2を吸収し成長するため、ブルーカーボンとして持続可能な社会や環境の再生にも寄与。



提供：海藻ラボ(株)

● 【石坂 秀威氏 (合同会社 シーベジタブル)】(高知県安芸市)

- ・小山薫堂氏によるシグネチャーパビリオン「EARTH MART」において、料理を通して未来へ向かう新しい価値を提案できる料理人の1人として同社の料理開発担当/シェフの石坂氏が起用。
- ・参加する料理人5名が共創し、「EARTH FOODS 25」(世界に共有したい日本発の食のリスト)から1名につき5つの食材を担当して新しいコンセプト料理を開発。
- ・同パビリオン内のコーナーにて展示される。



提供：合同会社 シーベジタブル

万博会場での出展への参加等（TEAM EXPO出展）

●【(株)レモリフ】（香川県高松市）

概要：MOTTAINAI OSEKKAI

（「もったいない」のおせかい）共創プロジェクト

リユースで確保した財源で、二次交通の充実と活動の持続可能性を構築。モビリティを中心とした幸循環社会の実現を目指す。

日程：2025年4月25日（金）



●【(株)穴吹ハウジングサービス】

（香川県高松市）

概要：焼酎から生まれるニューエナジーもっとわくわく

廃棄される食品残渣を活用し、バイオエタノールや土壌改良材を製造し、資源循環型社会の創造を目指す。

日程：2025年9月8日（月）～9月14日（日）



●【(株)川上板金工業所】

（香川県まんのう町）

概要：YANEYAプロジェクト

オープンファクトリーを取り入れたプロジェクトで、ものづくりやデザインの楽しさを提供し、人材育成や地域活性化に貢献。

日程：2025年9月15日（月）



●【愛媛製紙(株)】

（愛媛県四国中央市）

概要：植物性食品廃棄物から

アップサイクル化粧品・食品原料！！

MaCSIE(マクシー)生産で培った技術やノウハウを活用し、食品廃棄物から付加価値の高いアップサイクル原料を世の中に広める。

日程：2025年6月6日（金）



●【大王海運グループ】

（愛媛県四国中央市）

概要：船舶と技術で紡ぐ持続可能な未来

「RORO船」を活用し、物流業界におけるドライバー不足問題の解決やモーダルシフトの取組を全国に広める。

また、発酵槽と脱臭装置を組み合わせたトンネルコンポスト方式のごみ処理施設を設計・施工し、環境問題へも貢献する。

日程：2025年8月22日（金）～8月24日（日）



提供：大王海運グループ

●【山陽物産(株)】（愛媛県伊予市）

概要：地元農業と連携し、環境に優しいハブラシ製造へ「やまだわら」水稻を活用した地域循環型プロジェクト
愛媛県の耕作放棄地で生産された「資源米」を活用し、環境に優しい「お米ハブラシ」を製造。自然由来原料の製品で環境に優しい社会を目指す。

日程：2025年4月21日（月）～4月27日（日）



万博国際交流プログラム（内閣官房による補助事業）

● 松茂町×ガーナ

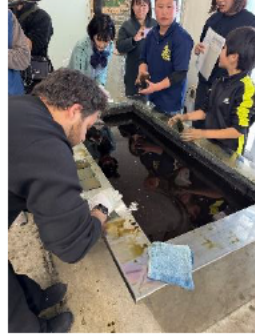
概要：テーマ事業プロデューサーの中島さち子氏と連携し、STEAM教育の推進及びごみアートを通じた環境教育や文化交流のイベントを開催。



提供：松茂町

● 上板町×ヨルダン

概要：エシカル消費を学ぶ小学校児童とヨルダンのこどもたちが共通の伝統産業である藍染めを通じた交流を実施。また、ヨルダンの代表者や大使館関係者などを招いて藍染めや食をテーマに交流イベントを開催。



提供：上板町立高志小学校

● 上勝町×ナイジェリア

概要：将来のビジネスや人的交流の高まりを見据え、交流相手国の在京大使館職員等はじめとする視察団を招聘した町内での文化交流や意見交換を実施することで、ゴミ問題等の相手国の課題解決を目指す。



● 愛南町×カナダ

概要：町、高校、漁業協同組合等が連携して行う、相手国の産品を使った商品開発を通じた交流の実施。また、相手国による高校生を対象とした講演会を開催。



● 本山町・土佐町×セーシェル

概要：高校生等が交流相手国を訪問し、現地の中等教育機関の生徒等と「持続可能性の高いツーリズム」等の共通課題について探求・交流する。また、現地の各訪問先で万博をPR。



提供：本山町・土佐町

● 香川県、丸亀市×スペイン

概要：美術や建築を学ぶ学生の派遣についての協議・調整や瀬戸内国際芸術祭および四国遍路を通じた交流を実施し、現地で情報発信を行う。



● 香川県×パラオ、イタリア、ブラジル、ベトナム、中国

概要：
パラオ：「うどん」と同じ発音の食べ物を持つ縁を活かした「うどん」をフックとした交流。

イタリア：学生を本県の文化や歴史を体験するツアーに招待し、体験や交流を通じ県の魅力を発信

ブラジル：県内青少年を派遣し、若者同士の交流を行い、万博や県の魅力を発信。

ベトナム：在県ベトナム人と県民による合同でのビーチクリーンアップ活動実施による交流。

中国：青少年交流を通じた国際社会で活躍する人材育成、万博会場での相手国催事への参加・協力。

● 愛媛県×モザンビーク

概要：交流相手国側の関係者を招いた交流イベント等を実施し、同国の歴史、文化への学びを通じ、国際理解、グローバルな問題への関心をもつ県民の増加を図る。



提供：愛媛県



想像以上!が、万博だ。
来場予約受付中!

ぜんぶのいのちと、ワクワクする未来へ。



開催期間 2025年4月13日(日) - 10月13日(月)
開催場所 大阪 夢洲 (Miyako) チケット販売中! (チケット)

